

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 391 号	氏名	氏福 健太
学位審査委員	主査 永山 雄二 副査 平野 明喜 副査 中島 正洋		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、脳腫瘍である神経膠芽腫における抗癌剤 (Temozolomide, TMZ) 耐性とマイクロ (mi) RNA 発現変化の関連を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 TMZ 耐性株を樹立して、DNA 修復酵素 O6-methyl guanine methyltransferase (MGMT)のプロモーターメチル化解析、miRNA 発現のマイクロアレイ解析、リアルタイム PCR、miRNA ノックダウンによる抗癌剤感受性の変化、さらには miRNA 標的 mRNA のコンピューター予測を駆使した研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、3 種の miRNA (miR-195、miR-455-3p、miR-10a*) が TMZ 耐性に関わることを明らかにし、さらにこれらの標的遺伝子をコンピューター予測した。本研究成果は、今後の脳腫瘍治療研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は脳腫瘍研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			